

こんにちは。SSH推進委員会です。高校生1年生は探究Ⅰ、高校2年生は探究Ⅱの授業がスタートし、大学のことを調べたり、自分たちの研究する内容を決めるためにたくさんのことを考えているのではないのでしょうか？どちらも将来のことを考えるうえでとても大事なことなので、しっかり悩み、考えるようにしてください。

さて、第三号となる今回は、探究Ⅱの生物班、富田林高等学校の科学部が参加した**第68回日本生態学会岡山大会の結果と、第21回生物オリンピックの案内**を掲載します。

第68回日本生態学会岡山大会

2021年3月17日～21日にオンラインで発表会が開催されました。探究Ⅱの生物班（谷野祐稀さん、森山颯太さん、平山裕太さん）が『**なぜマミスクラゲはフラストレを形成するのか？**』とタイトルで**12分間の発表**を行い、その後**質疑応答が10分間**行われました。結果、**優秀賞**を受賞しました！！また、高校科学部の高橋さんが『**アメリカツノウズムシが尾を切る理由**』というタイトルで**7分間のポスター発表**を行い、その後**質疑応答が7分間**行われました。結果、**審査員特別賞**を受賞しました。2組とも東京都、宮城県、鹿児島県など**全国の高校生約120組**の中での受賞です！！

綿密な実験の計画や準備、結果の考察だけでなく、発表練習もたくさん行った結果、このような素晴らしい結果に繋がったと思います。本当におめでとうございます！！



日本生物学オリンピック2021

2021年7月18日に**日本生物学オリンピック2021 予選**が開催されます。エントリーは5月31日まで、申し込みは始まっています。生物が好きな人や新しいことに挑戦したい人はぜひ受験してみてくださいでしょうか？過去問題を載せますので、ぜひ解いてみてください。ほかにも物理チャレンジも申し込みは始まっています！！**興味がある人はぜひぜひ参加してください。**

問 ある動物の運動神経とそれがつながる骨格筋を摘出し、神経筋標本を作った。次に、その標本の神経を電気刺激して、筋肉の収縮をミオグラフ（筋運動記録器）で記録した。神経筋接合部から2.5cm および12.5cm 離れた部位で刺激したところ、それぞれ7.0ミリ秒および11.0ミリ秒後に筋収縮が始まった、神経筋接合部での伝達時間を推定するため、次に直接筋肉を電気刺激してみたところ、2.5ミリ秒後に収縮が生じた。神経筋接合部での伝達時間として推定される値をA～Jから選べ。

A 0.5ミリ秒、B 1.0ミリ秒、C 1.5ミリ秒、D 2.0ミリ秒、E 2.5ミリ秒、
F 3.0ミリ秒、G 3.5ミリ秒、H 4.0ミリ秒、I 4.5ミリ秒、J 5.0ミリ秒

答え、生物学オリンピックの案内はQRコードの『No3 rink』先に記載します⇒